

ローヤルルマニユース

No.160

発行 ローヤル油機株式会社 2007年7月17日

〒979-0202 福島県いわき市四倉町上仁井田字家ノ前 107-4 TEL.0246-32-6657 FAX.0246-32-6658

Eメールアドレス GSP00013@nifty.com

HPアドレス <http://homepage1.nifty.com/loyal/>

【ジャバラ式カートリッジガン】

- ヤマダコーポレーション -

1. **エア式グリースガンAMG-400** 図1 定価¥12,000
軽量・コンパクトなので、片手で給脂作業ができます。
特にマイクロホースを使用する場合に、最適です。
2. **ハンド式グリースガンCH-400** 図2-A 定価¥3,200
手を汚さずに、ワンタッチで装填できます。
最後まで無駄なくきれいに給脂できます。
3. **ハンド式グリースガンKH-120** 図2-B 定価¥3,200
最小・軽量なので、手に負担がなく女性もできます。
高所作業時や離れた場所での給脂に最適です。



『自由、それは自転車』

高崎物語

2

高崎経済大学は、市の中心街から十キロほど離れた桑畑の中にあった。校舎は、建設されたばかりの本館と体育館、それに図書館と食堂が併設された学生会館だけの単科大学らしい小さな学園だった。

学園の裏手には、利根川の支流である烏川が流れていた。土手からは、南に無骨な形をした妙義山、西に富士の名にふさわしい様名富士、北には国定忠治で有名な赤城山が見え両毛三山といわれていた。また、遠くには雪を冠る雄大な菅田の浅間山が見えた。

当然、大学の周りには雑貨屋も食材の店もなかった。何をかうにも街場まで出なければならなかった。そのため、自転車は最低で最大の必需品だった。

わたしの送りでは新しい自転車など望むべくもなかった。早送先輩に教えてもらった駅近くの質屋に行った。質屋の裏手には、十台程の自転車が整然と並べられていた。その中に、七百円の正札が付いた頑丈そうなやつに目をつけた。

「おじさん、これ欲しいんだけど五百円しか持ってないんだ。何とか負けてくれないかなあ」

「いくら学生さんでも、それは無理じゃのお。まあいいとこ六百円じゃのお」

気の善さそうなおじさんは、上州なまりで話した。

「それじゃ、中とつて五百五十円でお願いできかないかなあ」

「こお粘られたんじゃ、仕方ねえのお。いいよそれで」

「おじさん、ありがとう。大切にやるからね」

わたしは、これでやっと自由に行動できると思った。

あとがき

“値上げ、値上げ、値上げ！”毎日価格改定のFAXが入らない日はない。いったいどうなってしまうんだろう。韓国・中国、そしてタイ・インド、やがてベトナム・ラオスと経済が上昇すれば……、考えただけで身震いがします。48年のオイルショックが、頭をよぎるのはわたしだけでしょうか。